

## 平成 22 年度総合計画住民アンケート 調査結果 (中学 3 年生)

### 1. 調査の目的

住民の方々の公共サービスの満足度やまちづくりについての考えを把握し、計画策定にあたっての参考とすることを目的とします。

なお、本調査は、18歳以上の一般住民と中学生に分けて実施しました。

### 2. 調査項目

別添「調査票」のとおり。

### 3. 調査方法

	一般住民	中学生
(1) 調査期間	平成 22 年 5 月 31 日 (月) ~ 6 月 11 日 (金)	
(2) 調査地域	新城市内全域	
(3) 調査対象	市内に在住する満 18 歳以上の住民	市内の中学校に通学する中学 3 年生
(4) 抽出法	無作為抽出 (注)	対象全員
(5) 調査方法	郵送による配布、回収	校内配布、回収

(注) 住民基本台帳より、地区 (旧市町村) 別、年齢階層別、男女別の抽出率を設定

### 4. 回収結果

	一般住民	中学生
配布数	5,000	518 (506)
有効回収数	2,117 (2,716)	485 (491)
有効回収率	42.3% (54.3%)	93.6% (97.0%)

※ ( ) 数字は前回調査のもの

### 5. 注意事項

本調査の図表で示した構成比の数字については、小数点以下の四捨五入の関係で、合計が 100% にならず、0.1 ポイントずれるケースがある。また、文章中の数字についても、同様の理由により、図表の数字と 0.1 ポイント以内の差が生じることがあります。

## 第1章 回答者の属性

### 問1 性別（あなたの性別は。）

回答者の性別は、男性が47.4%(230名)、女性が52.2%(253名)、無回答が0.4%(2名)となっている。

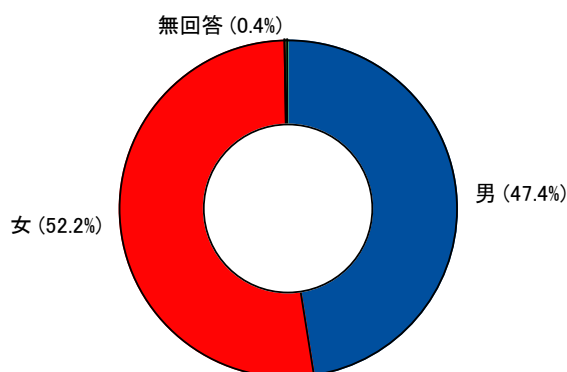


図1 性別

### 問2 小学校区（あなたが住んでいる地域の小学校は。）

回答者の居住する小学校区の割合は以下のとおり。

#### 小学校区

	区分	回答数	構成比
新城地区	新城小学校区	64	13.2%
	千郷小学校区	116	23.9%
	東郷西小学校区	46	9.5%
	東郷東小学校区	42	8.7%
	舟着小学校区	22	4.5%
	八名小学校区	46	9.5%
	庭野小学校区	3	0.6%
鳳来地区	鳳来中部小学校区	43	8.9%
	鳳来寺小学校区	12	2.5%
	鳳来西小学校区	4	0.8%
	海老小学校区	1	0.2%
	連谷小学校区	2	0.4%
	山吉田小学校区	11	2.3%
	黄柳野小学校区	5	1.0%
	東陽小学校区	21	4.3%
	鳳来東小学校区	8	1.6%
作手地区	菅守小学校区	6	1.2%
	開成小学校区	8	1.6%
	巴小学校区	14	2.9%
	協和小学校区	8	1.6%
	無回答等	3	0.6%
	計	485	100.0%

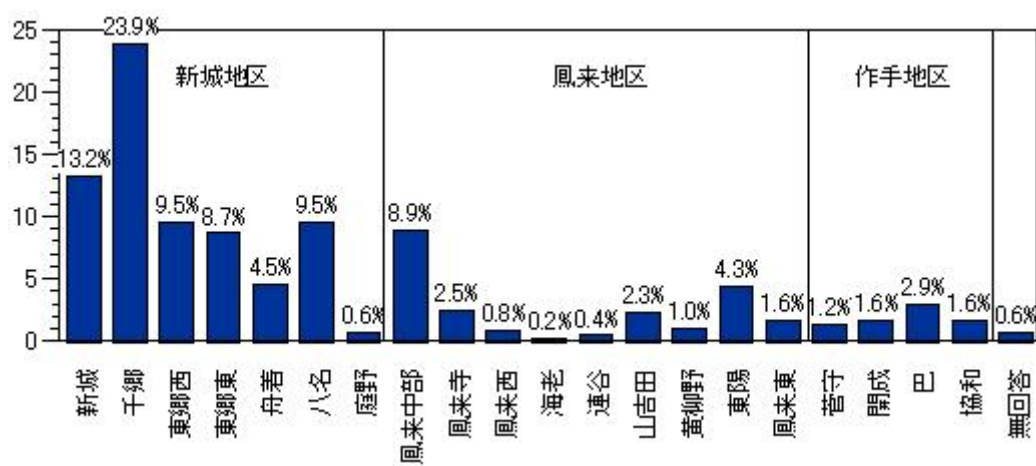


図2 小学校区

## 第2章 これからのまちづくり

### 問3 定住意向

(あなたは、今後も新都市内に住みたいですか。あてはまる考えに1つだけ○印をつけてください。)

今後の定住意向に対して、「住みたい」が40.4%、「移転したい」が41.0%、「その他」が18.5%となり、定住希望と移住希望が拮抗している。

「住みたい」理由は、「豊かな自然に恵まれているから」が14.5%で最も高く、次いで「友人や知人、親せきなどがいて安心して住めるから」が11.8%となった。一方、「移転したい」理由は、「この地域に魅力的な働く場がないから」が12.9%で最も高く、「みんなで楽しんだり、遊ぶ施設などが無いから」が11.2%となった。

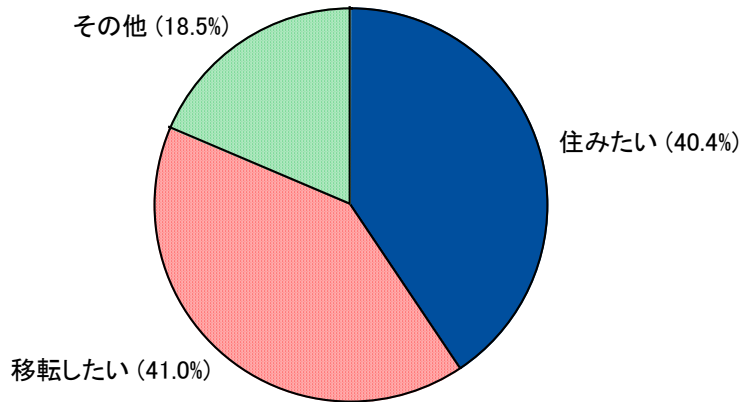


図3 定住意向

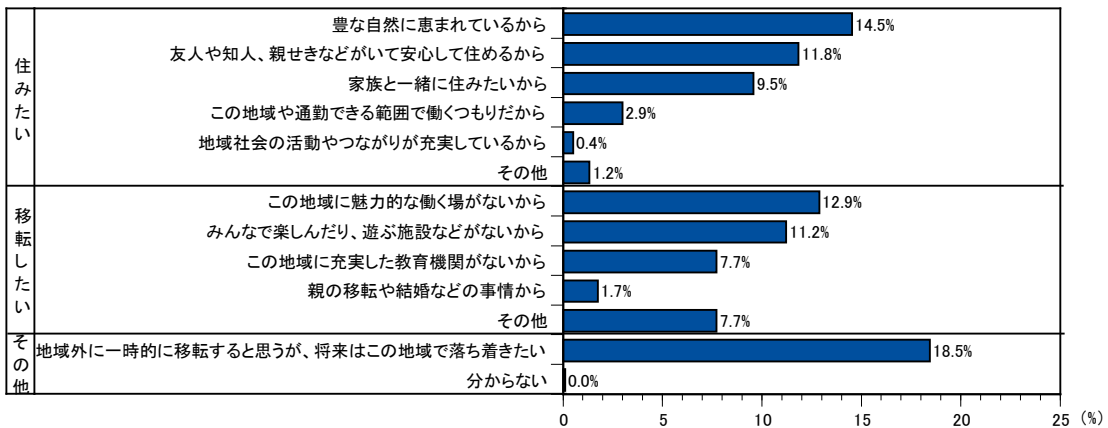


図4 定住意向詳細

### 【地区別】

新城地区：「住みたい」が「移転したい」を上回っている。

鳳来地区：「移転したい」が三地区中で最も高く半数を超えた。

「移転したい」理由として、「この地域に魅力的な働く場がないから」が最も高く、他地区の2倍程度となっている。

作手地区：「住みたい」が3地区の中で最も高い。

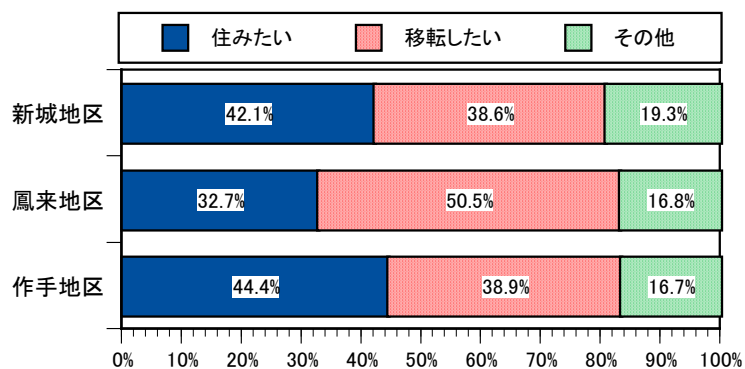
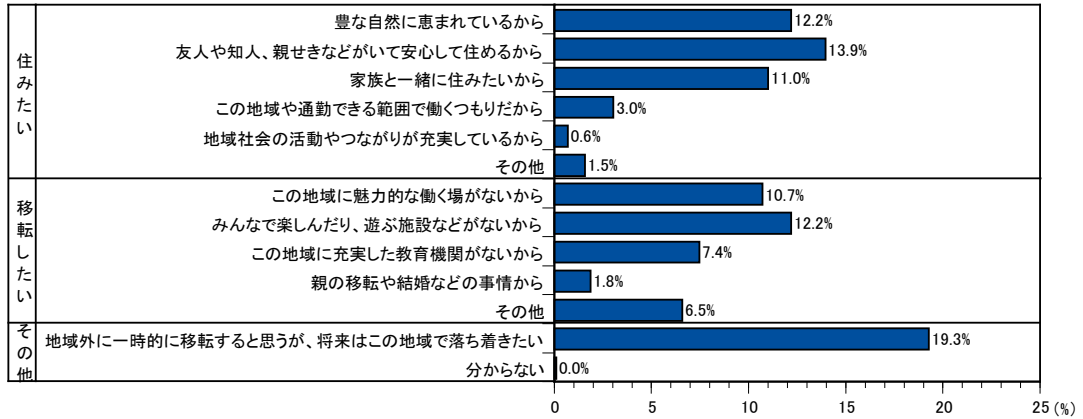
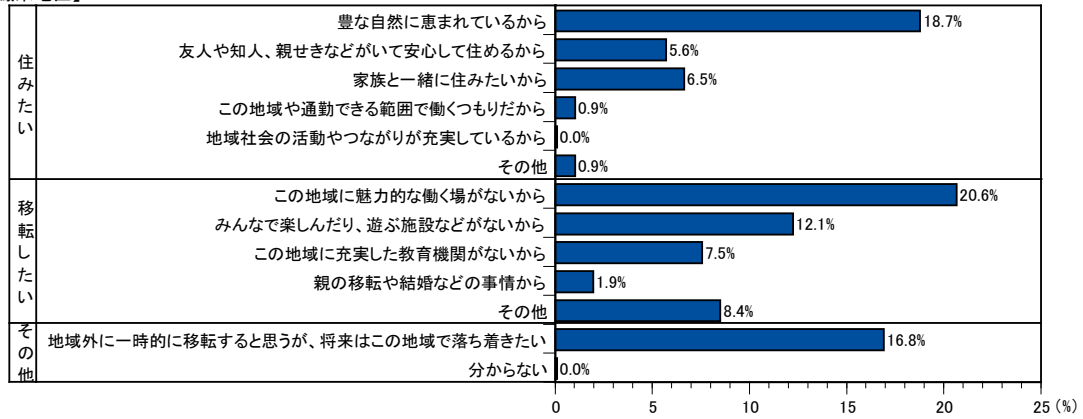


図5 定住意向（地区別）

【新城地区】



【鳳来地区】



【作手地区】

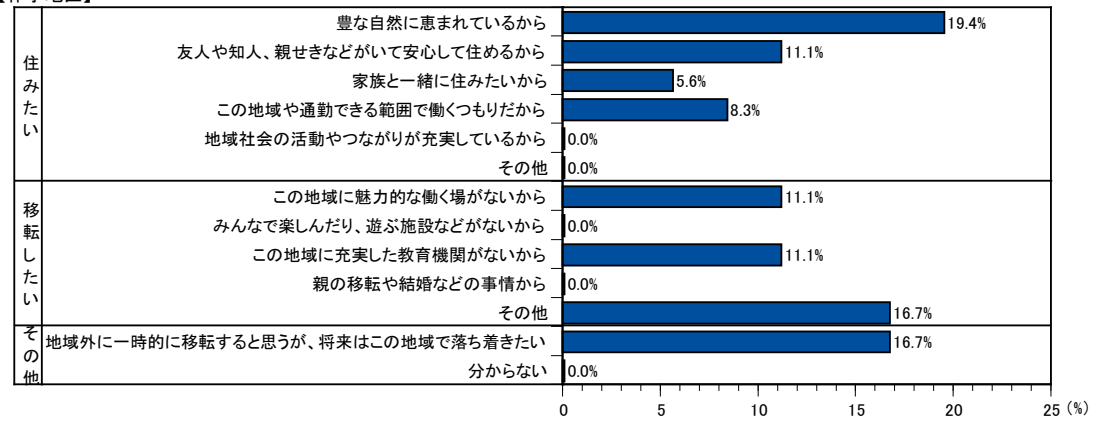


図6 定住意向詳細（地区別）

#### 問4 有効と思われる定住促進策

(新都市に多くの人に住むようにするためには、どのような対策が必要と思われますか。

3つまで○印をつけてください。)

「買い物・遊びなどのにぎわいのある施設の誘致」が75.4%と突出して高い。「病院や診療施設などの充実」が44.0%、「通勤圏・生活圏の拡大のための交通基盤整備」が36.0%となっている。

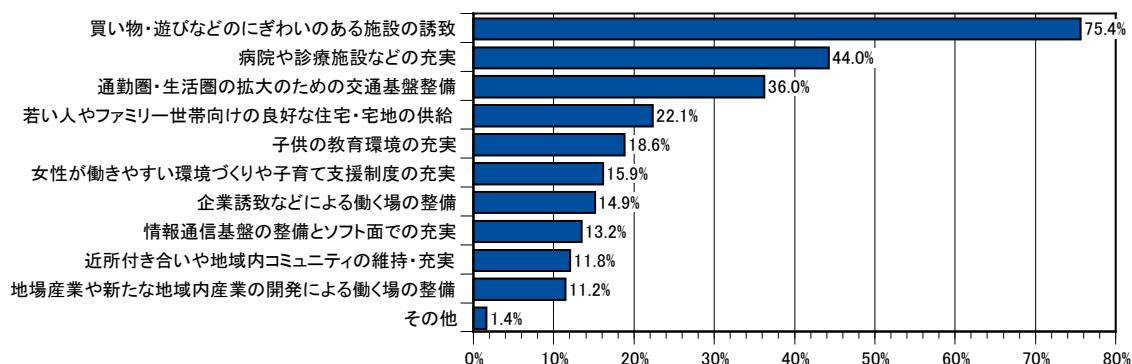


図7 有効と思われる定住促進策

#### 【地区別】

新城地区：市平均と比べて大きな差異はない。

鳳来地区：「通勤圏・生活圏の拡大のための交通基盤整備」が47.7%であり、市平均と比較して高くなっている。

作手地区：「通勤圏・生活圏の拡大のための交通基盤整備」が55.6%、「近所付き合いや地域内コミュニティの維持・充実」が22.2%、「地場産業や新たな地域内産業の開発による働く場の整備」が19.4%であり、市平均と比較して高くなっている。

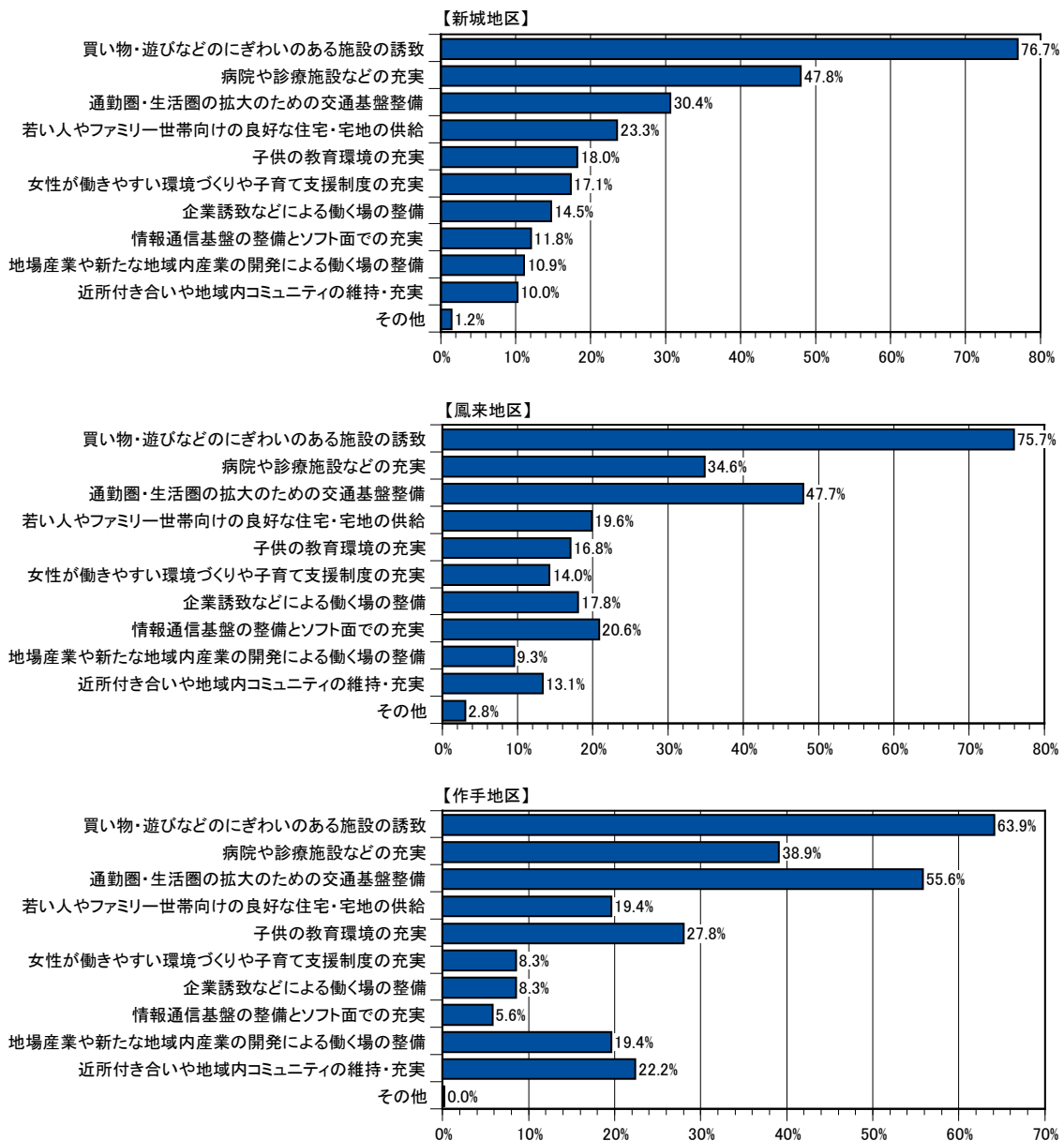


図8 有効と思われる定住促進策（地区別）



## 問5 住民自治活動への参加状況

(あなたは、地域の行事(お祭りなど)に参加していますか。1つだけ○印をつけてください。)

「参加している」が73.8%であり、中学生の参加率は高い。また、参加したいという希望はあるものの、「参加したいがきっかけがない」、「参加したいが時間がとれない」などの理由で参加していない人の合計が11.7%となり、実際の参加率と併せて参加意識は高いといえる。「興味がないので、参加していない」と回答した人は10.6%である。

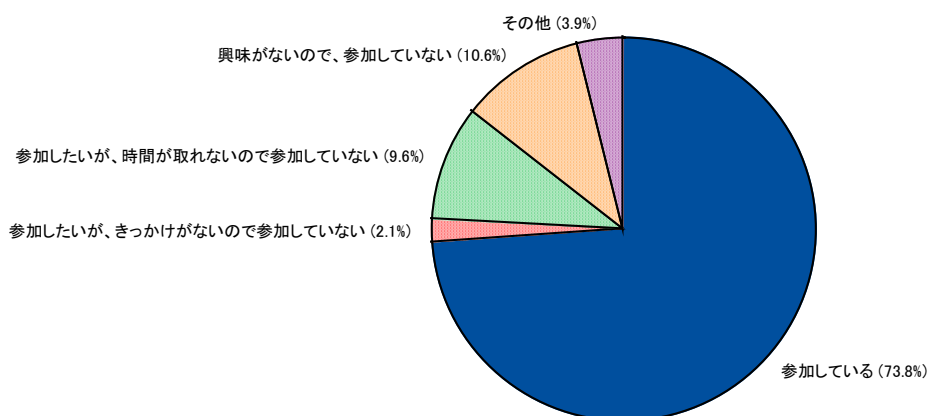


図9 住民自治活動への参加状況

### 【地区別】

新城地区：参加率が70.7%であり、3地区の中で最も低い。また、「興味が無いので、参加していない」との回答は3地区の中で最も高い。

鳳来地区：参加率が81.1%であり、市平均に比較して高い。

作手地区：「参加したいが時間がないので参加していない」が16.7%と3地区の中で最も高い。

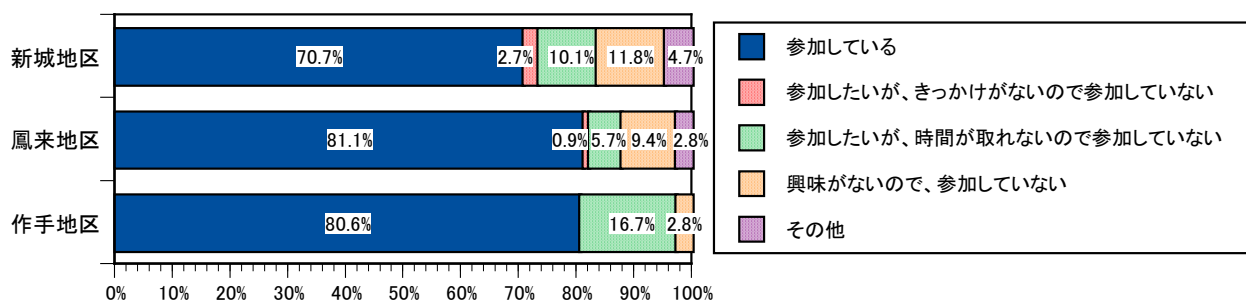


図10 住民自治活動への参加状況(地区別)

## 問6 住民自治活動への参加内容

(あなたは地域の行事の中で、参加・協力していきたいものがありますか。(現在行っていて、さらに継続して参加・協力したいものも含まれます。) あてはまるものすべてに○印をつけてください)

「地域で行うスポーツや趣味の団体の活動」が44.0%で最も高く、次いで、「地域の清掃・美化、環境保護の活動」が38.6%、「地区で行うコミュニティ活動」が30.1%であった。

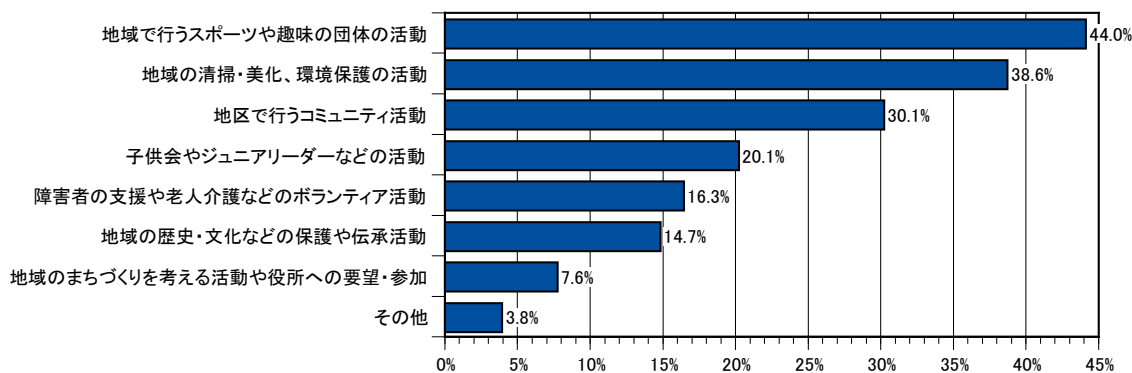


図11 住民自治活動への参加状況

**【地区別】**

新城地区：「地区で行うコミュニティ活動」が24.0%と他地区と比べて低い。

鳳来地区：「地区で行うコミュニティ活動」が45.3%と他地区に比べて高い。また、「地域の歴史・文化などの保護や伝承活動」が23.2%と他地区と比べ高い。

作手地区：「地域の清掃・美化、環境保護の活動」が64.7%と他地区に比べて非常に高く、反対に「子ども会やジュニアリーダーなどの活動」が2.9%と低い。

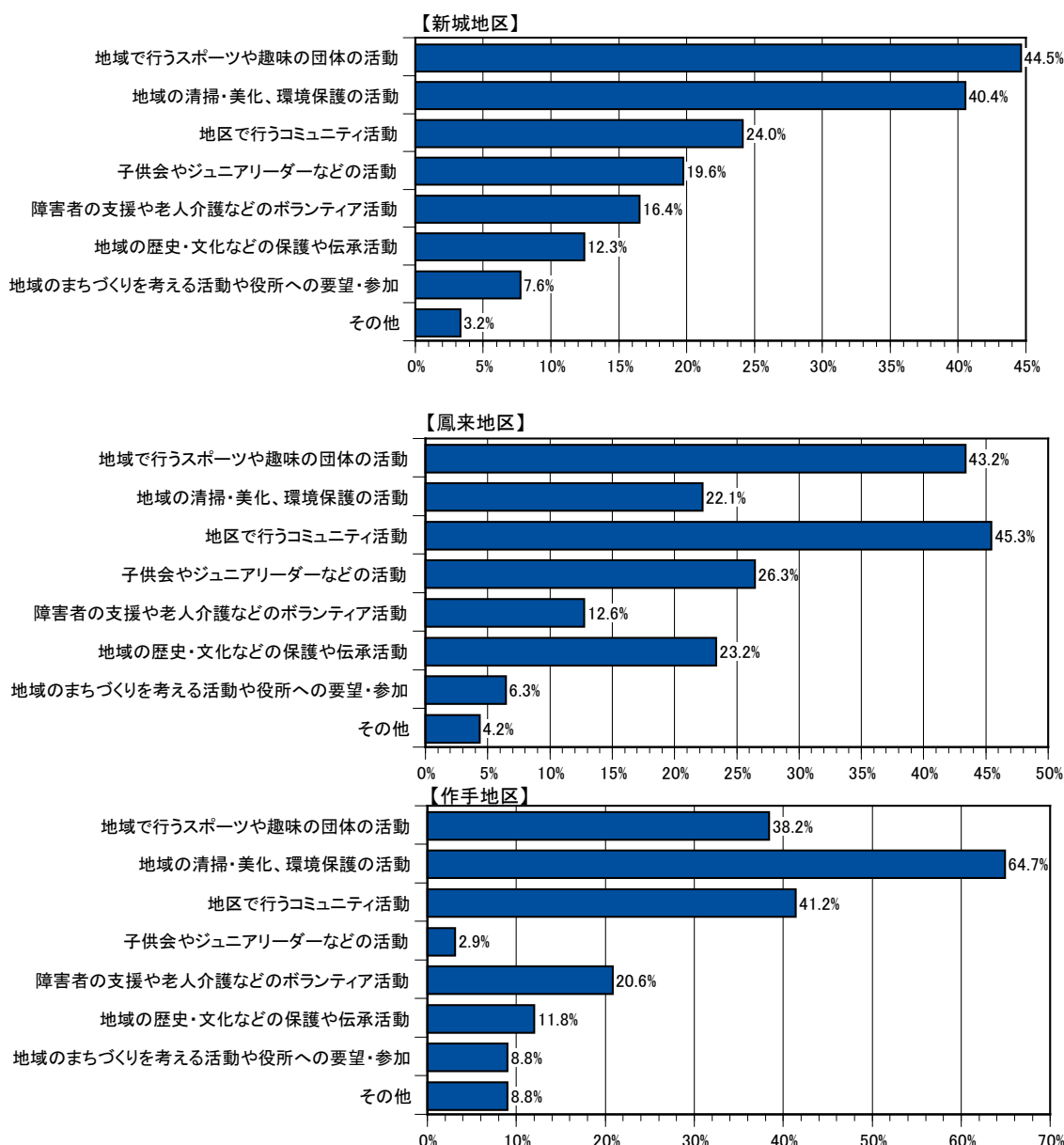


図 12 住民自治活動への参加状況（地区別）

### 第3章 公共サービスに対する重要度

#### 問7 公共サービスに対する重要度

(新都市内の様々な公共サービスについて、あなたはどの程度重要だと思いますか。)

調査では、公共サービスを「福祉・健康分野」「教育・文化・生涯学習分野」「生活・環境分野」「安全・安心分野」「産業・経済・都市基盤分野」「総合的分野」に大別し、それぞれの分野について複数の項目を設定して重要度を尋ねた。回答者は、各項目について「重要」「やや重要」「あまり重要でない」「重要でない」の4段階で評価し、ここでは無回答だった者を除く回答者のうち、「重要」「やや重要」と回答した者の割合を重要度と定義し、以下ではこの重要度を評価指標として各分野の公共サービスに対する中学生の重要度を検討した。

#### 福祉・健康分野

それぞれの重要度は、それぞれ90%以上を示しており、本分野を重要と考える中学生が多いことがうかがえる。特に、「地域医療等の充実」を「重要」と回答した割合が75.6%と高い重要度を示しており、中学生の関心は高い。

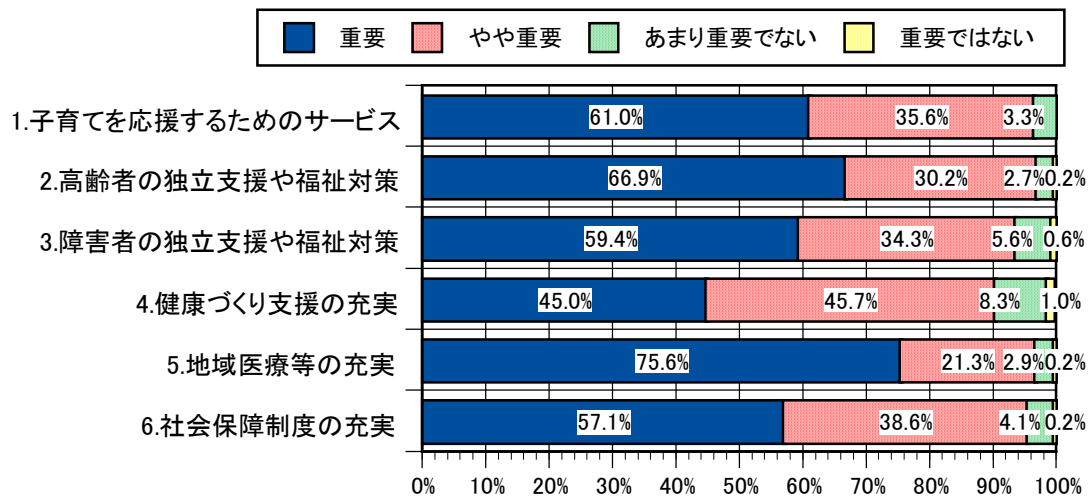


図13 福祉・健康分野に対する評価

## 教育・文化・生涯学習分野

全ての項目で重要度が70%を超えている。

特に中学生にとって身近な分野である「児童・生徒の教育対策」、「学校教育施設の整備」は、それぞれ94.8%、91.9%と高い比率となった。

一方、「生涯学習の推進」は72.7%と他の項目と比較して低い値となっている。

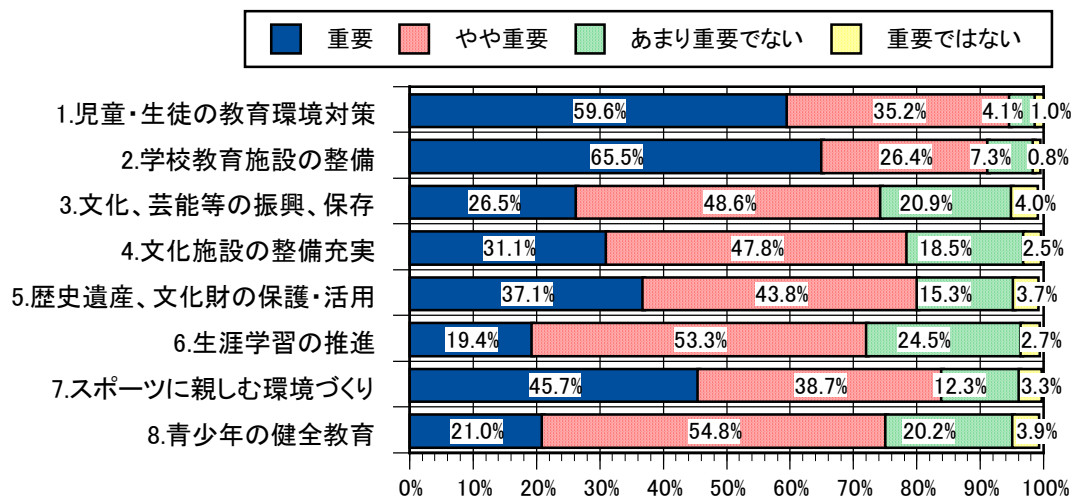


図14 教育・文化・生涯学習分野に対する評価

## 生活・環境分野

全ての項目で重要度が約90%以上となり中学生の関心が高い分野である。

「重要」と回答した割合も全ての項目で50%以上であり、中学生が重視している分野といえる。

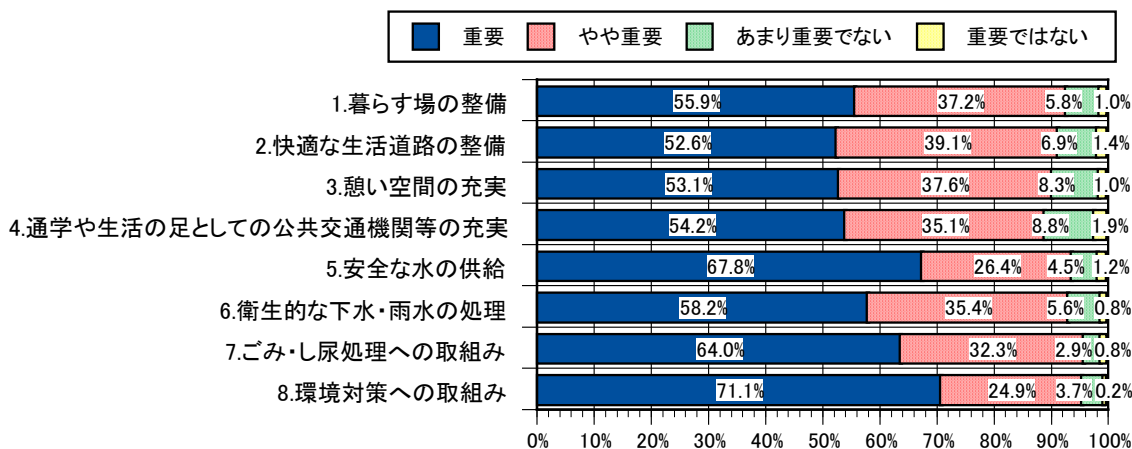


図15 生活・環境分野に対する評価

### 安全・安心対策分野

全ての項目で重要度が90%を上回っている。

特に、「大地震対策の取り組み」は「重要」と回答した割合が80.2%であり、重視していることが伺える。

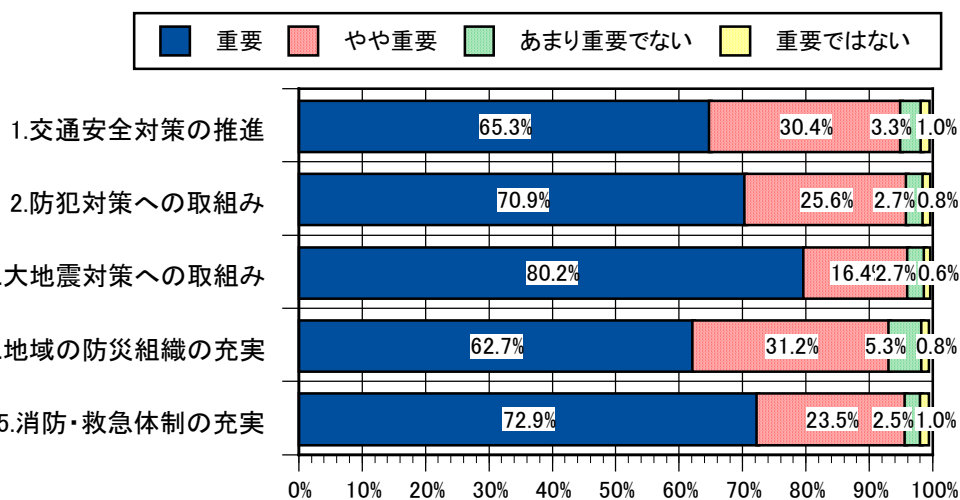


図 16 安全・安心対策分野に対する評価

### 産業・経済・都市基盤分野

全ての項目で重要度が80%を上回っている。

特に、「にぎわいの創出と交流人口対策」と「便利な市街地・中心地の整備」で「重要」と答えた割合が、それぞれ54.8%、48.6%であり、『問4 有効と思われる定住促進策』の結果とあわせて、にぎわいを求める声が多い。

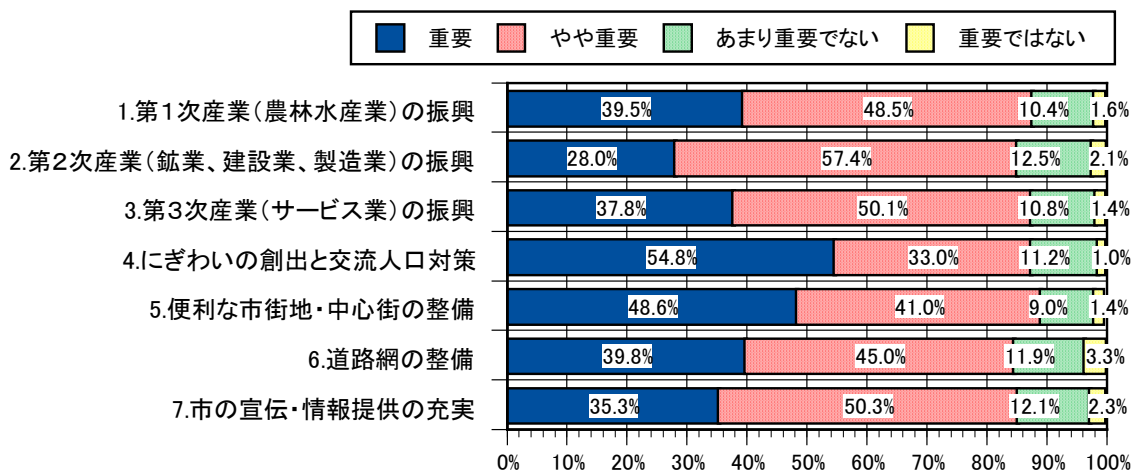


図 17 産業・経済・都市基盤分野

## 総合的分野

全ての項目で70%を上回っている。

特に「地域情報化への取り組み」については、重要度が86.5%と高い。

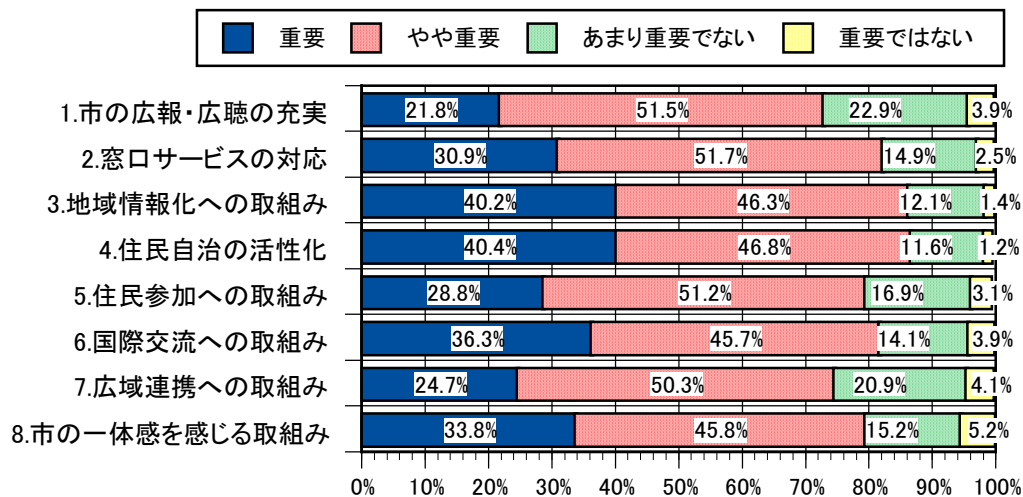


図 18 総合的分野に対する評価

## 問8 希望する新都市の将来像

(新都市が将来どのようなまちになったらよいと思われませんか。3つまで○印をつけてください。)

「水や緑の豊かな自然を守り、環境にやさしいまち」が70.7%と突出して高い。次いで、「ごみや公害のない清潔・快適なまち」が38.1%となっている。『問7 公共サービスに対する重要度』の生活・環境分野を重視している結果と同じく環境分野を重視している。

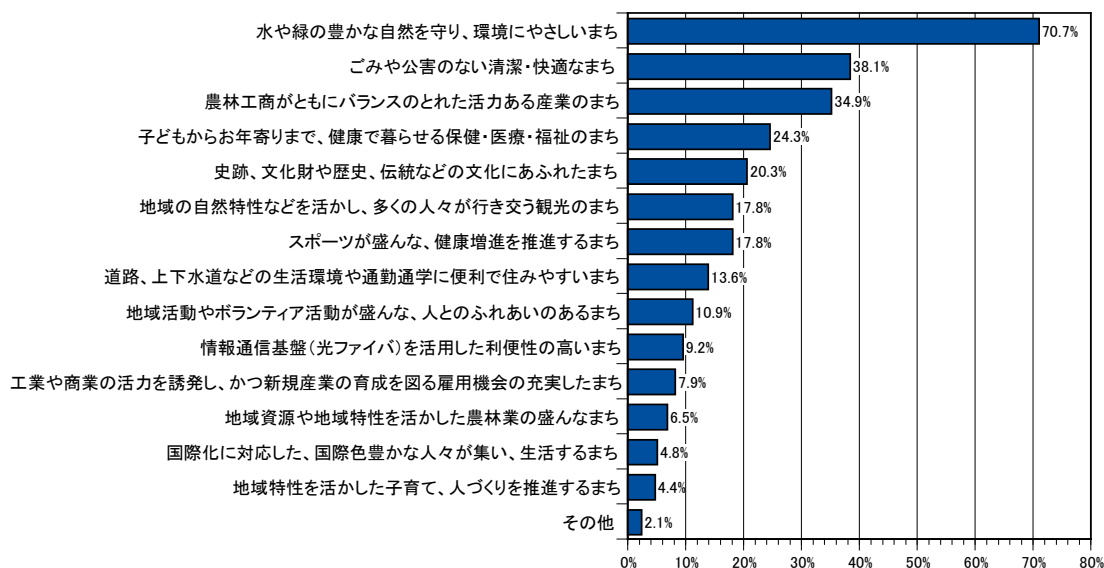


図19 希望する新都市の将来像

### 【地区別】

新城地区：市平均と比べて大きな差異は見られない。

鳳来地区：「史跡、文化財や歴史、伝統などの文化にあふれたまち」が他地区に比べ高い。

作手地区：「地域の自然特性などを活かし、多くの人々が行き交う観光のまち」が他地区に比べ高い。



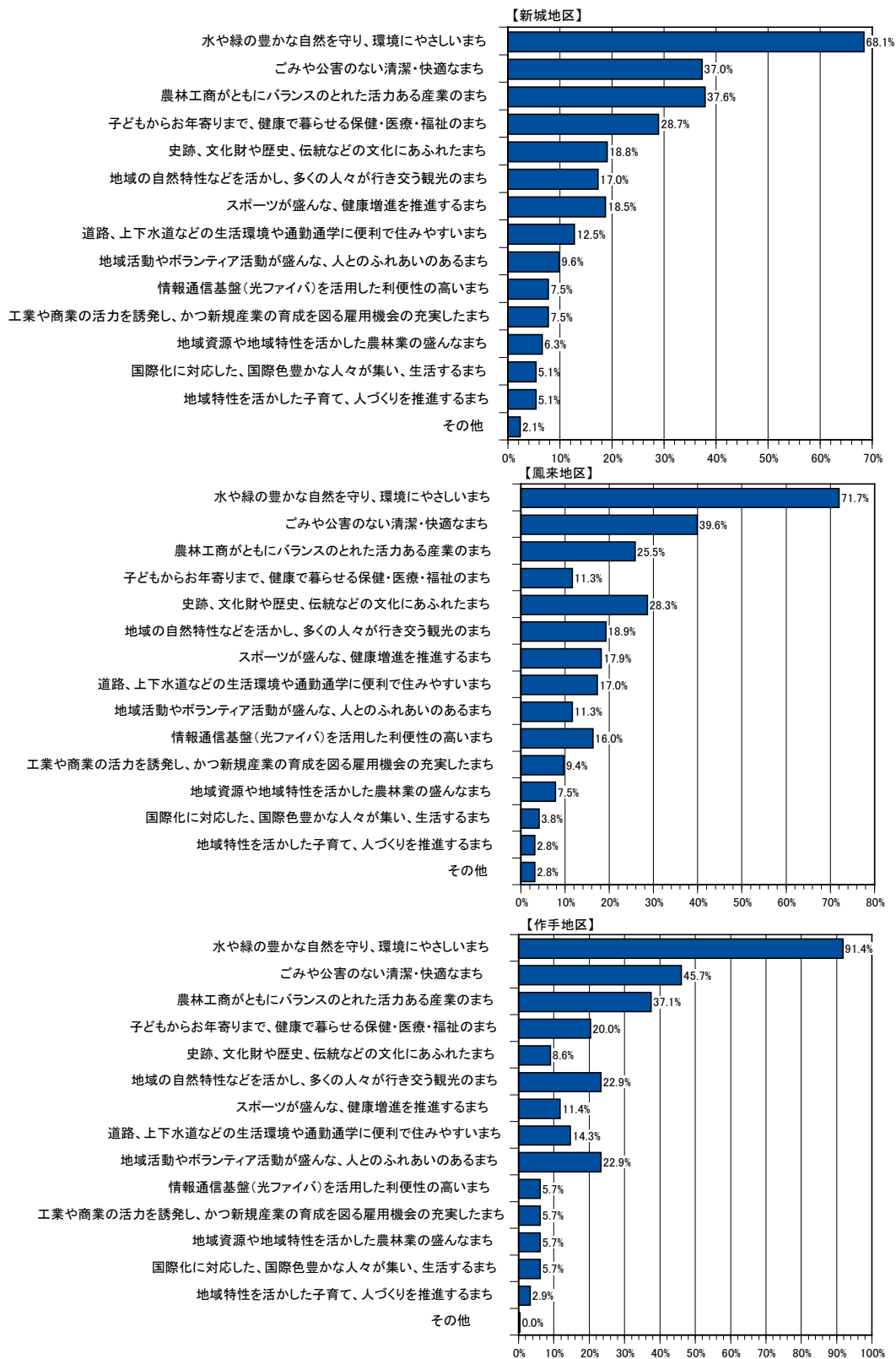


図 20 希望する新都市の将来像（地区別）

## 問 8-2 利用したい情報サービス

(問 8 で 14 を選択された方にお聞きします。身近で利便性を感じられる情報システム

(Web サービス) の展開において、利用したいサービスを 3 つまで〇印をつけてください。)

「防災・防犯支援」が 37.8% で最も高く、次いで「図書館高度利用」が 30.6% と高い。

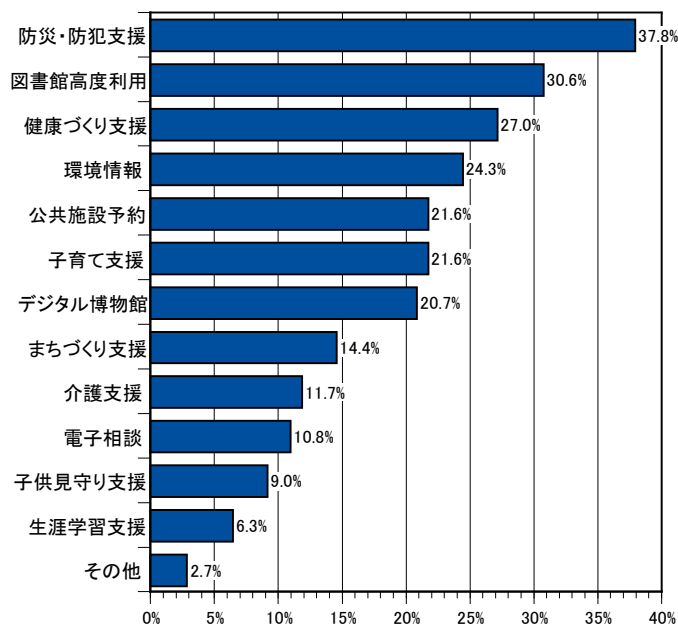


図 21 利用したい情報サービス

## 問9 将来不安要因

(あなたは住んでいる地域の将来に対して、不安を感じているものがありますか。3つまで○印をつけてください。)

「地域に人が少なくなる」が43.1%で最も高く、次いで、「医療・福祉サービスの低下」が39.5%、「就職場所の減少」が35.7%となっている。

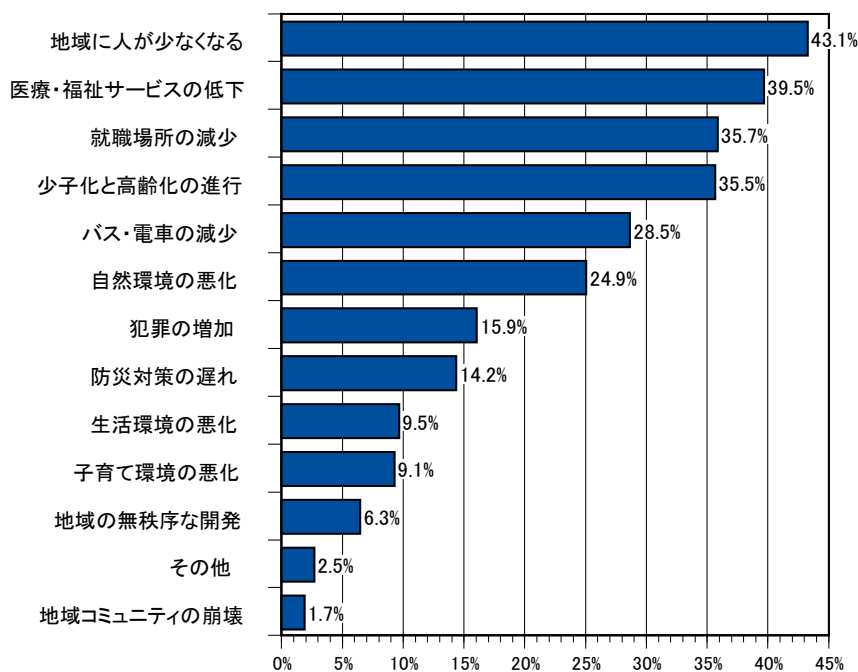


図 22 将来不安要因

### 【地区別】

新城地区：「医療・福祉サービスの低下」、「犯罪の増加」が他地区に比べて高い。

鳳来地区：市平均と比較して「バス・電車の減少」、「少子化と高齢化の進行」が高い。

作手地区：「地域の過疎化」が71.4%と3地区の中で最も高い。

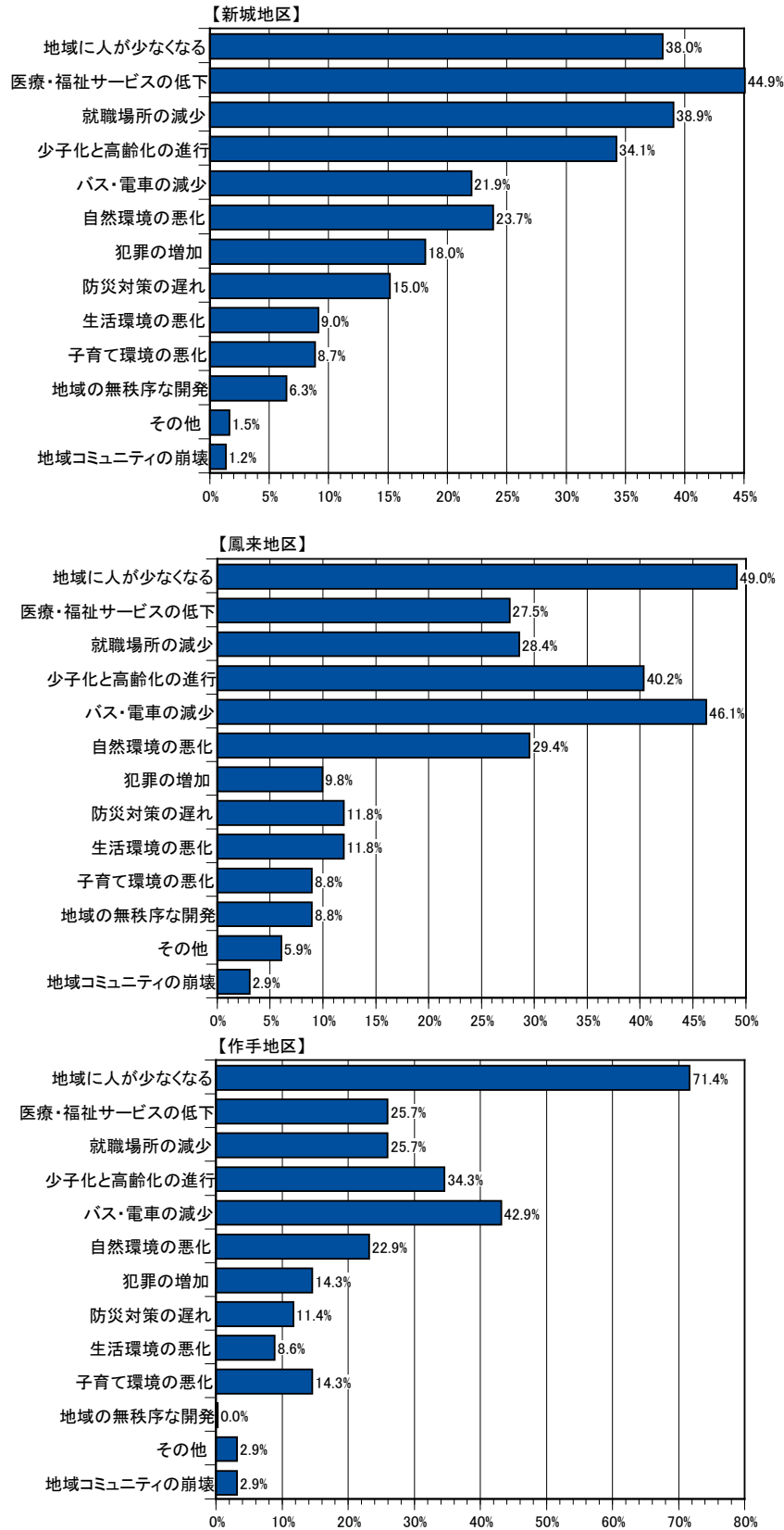


図 23 将来不安要因 (地区別)

## 問10 新都市の魅力・PRポイント

(あなたが、おすすめの新都市の魅力、または、今後の新都市をPRするにあたり効果的だと思われるものを3つまで○印をつけてください。)

新都市の魅力については、「滝や清流、湿原や山などの豊かな自然環境や水、森林、温泉などの豊富な地域資源」を挙げた人が58.2%で最も高い。次いで、「長篠城址・設楽原などの史跡や、のぼりまつりなどの歴史的背景を活用した行事」が57.7%、「さくらまつり、もみじまつり、つくで祭りなど四季と自然を扱うイベント」が57.1%であり、豊かな自然とそれを活用したイベントを新都市の魅力と捉えている人が多い。

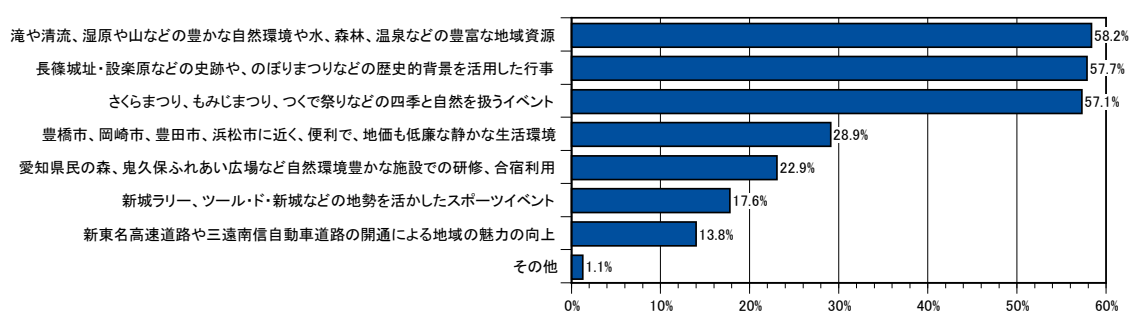


図24 新都市の魅力・PRポイント

**【地区別】**

新城地区：市平均の傾向に似ているが、「新城ラリー、ツール・ド・新城などの地勢を活かしたスポーツイベント」との回答が他地区に比べて高い。

鳳来地区：「長篠城址・設楽原などの史跡や、のぼりまつりなどの歴史的背景を活用した行事」との回答が他地区に比べて高い。

作手地区：「愛知県民の森、鬼久保ふれあい広場など自然環境豊かな施設での研修、合宿利用」が他地区に比べて高い。

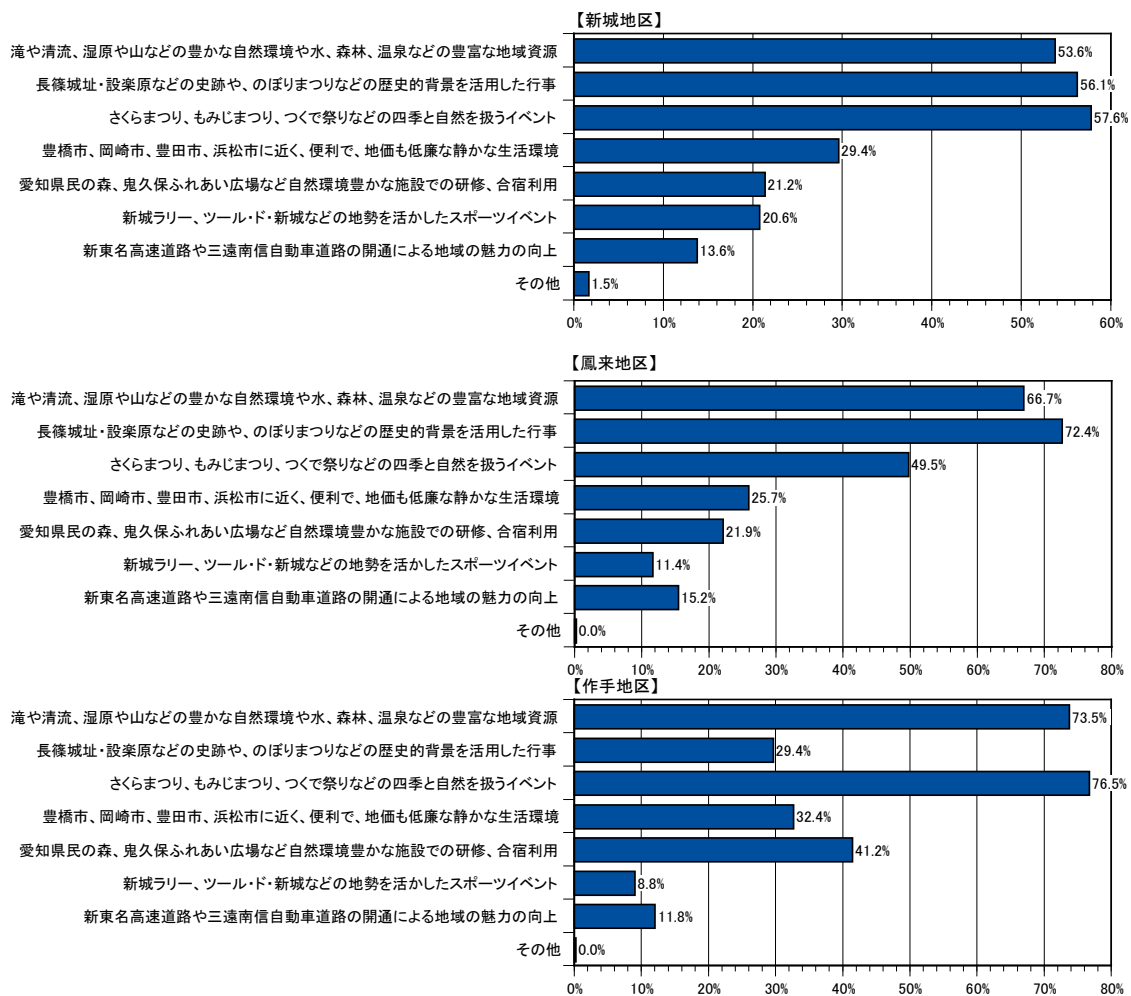


図 25 新城市の魅力・PR ポイント（地区別）